

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月27日

上場会社名 日立金属株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 5486 URL <http://www.hitachi-metals.co.jp/>

代表者 (役職名) 執行役社長

(氏名) 持田 農夫男

問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション室長

(氏名) 釜谷 和嗣

TEL 03-5765-4075

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日

平成21年11月27日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	195,276	△44.8	△3,501	—	△6,053	—	△5,680	—
21年3月期第2四半期	353,665	—	29,675	—	29,705	—	15,335	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△16.11	—
21年3月期第2四半期	43.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	508,768	204,501	36.3	523.90
21年3月期	530,191	214,576	36.6	550.79

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 184,666百万円 21年3月期 194,153百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	6.00	13.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	△25.5	10,000	△33.6	6,500	△36.5	1,000	—	2.84

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他（2）をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更）に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他（3）をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第2四半期	366,557,889株	21年3月期	366,557,889株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	14,073,104株	21年3月期	14,059,816株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第2四半期	352,489,539株	21年3月期第2四半期	352,534,541株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成21年4月30日公表の連結業績予想数値のうち、通期について本資料において修正しております。

(2) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。前記の予想に関する事項については、添付資料の4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、アジアでは中国を中心として回復しつつありますが、欧米では、依然として深刻な状況が続きました。わが国経済も、在庫調整が一巡する等持ち直しの動きが見られたものの、予断を許さない状況が続きました。

当社グループの関連業界では、自動車は、日米欧各国の景気刺激策により、販売回復の兆しが見られましたが、特に国内生産については厳しい状況が続きました。半導体は、需要が回復傾向となりました。携帯電話は、国内需要が依然として低調となりました。パソコンは、中国を中心に回復基調となりましたが、国内ではIT投資が低迷し、需要は低調でした。鉄鋼は、国内生産が依然として低迷しました。国内住宅着工は、市場の低迷により、低調が続きました。

このような厳しい事業環境のもと、当社グループは、自動車・エレクトロニクス関連製品の一部に需要回復の兆しが見られましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は、堅調であった前年同期と比較しますと大幅な減収となり、前年同期比44.8%減の195,276百万円となりました。また、営業損失は、大幅な減収の影響が大きく、前年同期比33,176百万円悪化の3,501百万円、経常損失は、前年同期比35,758百万円悪化の6,053百万円となりました。四半期純損失は、事業構造改善費用3,687百万円を特別損失として計上したことなどから、前年同期比21,015百万円悪化の5,680百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

①高級金属製品

当セグメントの売上高は、前年同期比43.9%減の88,481百万円となりました。また、営業損失は、前年同期比17,122百万円悪化の2,570百万円となりました。

主要製品の売上の状況は以下のとおりです。

<金型・工具用材料>

自動車生産の大幅な減少による金型需要の低迷が続きました。

<電子金属材料>

液晶パネル関連材料及び半導体等パッケージ材料は、アジアを中心とした需要を取り込み、期初より回復基調となりました。

<産業機器・エネルギー関連材料>

エネルギー関連材料は、需要が概ね堅調に推移しましたが、自動車関連材料は、需要低迷が続きました。

<各種ロール>

鉄鋼減産による需要低迷が続きました。

<射出成形機用部品>

市場の冷え込みによる需要低迷が続きました。

<切削工具>

主要ユーザーである自動車・産業機械関連業界の低迷により、低調に推移しました。

②電子・情報部品

当セグメントの売上高は、前年同期比45.8%減の45,815百万円となりました。また、営業利益は、前年同期比10,396百万円減の269百万円となりました。

主要製品の売上の状況は以下のとおりです。

<マグネット>

希土類磁石は、自動車・家電・パソコン向けで回復基調となりましたが、FA向けは設備投資抑制の影響を受けました。フェライト磁石は、自動車向けで需要回復が見られたものの、全体としては低調に推移しました。

<軟質磁性材料>

ソフトフェライト及びファインメットは、需要が緩やかな回復傾向にあったものの、前年同期比では低水準にとどまりました。アモルファス金属材料は、需要が回復基調で推移しました。

<情報通信機器用部品>

中国向け需要は回復基調にあったものの、欧州向け需要の落ち込みの影響を受けました。

③高級機能部品

当セグメントの売上高は、前年同期比42.9%減の62,660百万円となりました。また、営業損失は、前年同期比6,888百万円悪化の159百万円となりました。

主要製品の売上の状況は以下のとおりです。

<高級ダクタイル鋳鉄製品>

トラック、乗用車向け共に大幅減産により需要が低迷しました。

<耐熱鋳造部品>

欧州向けは需要回復傾向となりましたが、北米向けは需要低迷が続きました。

<アルミホイール>

主要顧客の在庫調整に終息の兆しが見られ、需要は回復基調となりました。

<各種管継手>

国内では建設需要減少及び設備投資抑制の影響を受け、米国でも建設需要の低迷が続きました。

<ステンレス及びプラスチック配管機器>

国内及び米国における住宅着工の低迷により、需要が低迷しました。

<建築部材>

大型商業施設等建設需要の大幅減少や設備投資抑制の影響を受け、需要が低調となりました。

④サービス他

当セグメントの売上高は、前年同期比50.0%減の28,007百万円となりました。また、営業損失は、前年同期比1,342百万円悪化の283百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主にたな卸資産等の運転資金の減少による収入等により、前連結会計年度末に比べ5,760百万円増加し、39,236百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、29,503百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失8,715百万円があったものの、たな卸資産等の運転資金の減少による収入18,228百万円、法人税等の還付7,307百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、14,845百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が14,891百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、7,972百万円となりました。これは主に有利子負債の減少4,376百万円、利息の支払1,134百万円、配当金の支払2,115百万円があったこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後も厳しい事業環境は続く見込んでおりますが、平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の通期連結業績予想につきましては売上高を減額するものの、利益につきましては一層のコスト削減による寄与等により、平成21年4月30日公表の予想数値を据え置いております。

【通期】

	今回予想(A)	当初予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	440,000百万円	460,000百万円	△20,000百万円	△4.3%
営業利益	10,000百万円	10,000百万円	0百万円	—
経常利益	6,500百万円	6,500百万円	0百万円	—
当期純利益	1,000百万円	1,000百万円	0百万円	—

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却費の算定方法

一部の連結子会社は、固定資産の減価償却費の算定方法について合理的な予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法により算定しております。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等や一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算出しております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等や一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法により算出しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、これによる売上高、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,270	24,514
受取手形及び売掛金	74,215	70,962
関係会社預け金	8,683	8,473
商品及び製品	33,907	41,422
仕掛品	25,279	28,410
原材料及び貯蔵品	23,597	30,189
その他	22,797	25,143
貸倒引当金	△505	△845
流動資産合計	217,243	228,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,801	57,646
機械装置及び運搬具（純額）	83,677	88,220
土地	50,867	51,259
その他（純額）	15,253	18,872
有形固定資産合計	206,598	215,997
無形固定資産		
のれん	45,381	46,785
その他	6,706	6,940
無形固定資産合計	52,087	53,725
投資その他の資産		
投資有価証券	11,345	10,833
その他	23,712	23,352
貸倒引当金	△2,217	△1,984
投資その他の資産合計	32,840	32,201
固定資産合計	291,525	301,923
資産合計	508,768	530,191

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,998	47,733
短期借入金	59,718	66,553
コマーシャル・ペーパー	9,000	6,000
1年内返済予定の長期借入金	4,487	3,653
1年内償還予定の社債	10,000	6,025
未払法人税等	1,329	1,790
引当金	60	121
その他	30,997	40,263
流動負債合計	169,589	172,138
固定負債		
社債	29,000	34,000
転換社債型新株予約権付社債	40,000	40,000
長期借入金	31,907	33,888
退職給付引当金	22,367	23,228
その他の引当金	4,018	4,101
その他	7,386	8,260
固定負債合計	134,678	143,477
負債合計	304,267	315,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,284	26,284
資本剰余金	41,243	41,243
利益剰余金	144,505	152,789
自己株式	△10,652	△10,641
株主資本合計	201,380	209,675
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,096	279
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△17,809	△15,801
評価・換算差額等合計	△16,714	△15,522
少数株主持分	19,835	20,423
純資産合計	204,501	214,576
負債純資産合計	508,768	530,191

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	353,665	195,276
売上原価	280,828	166,795
売上総利益	72,837	28,481
販売費及び一般管理費	43,162	31,982
営業利益又は営業損失(△)	29,675	△3,501
営業外収益		
受取利息	352	184
受取配当金	117	72
為替差益	1,299	—
その他	3,367	1,882
営業外収益合計	5,135	2,138
営業外費用		
支払利息	1,438	1,087
デリバティブ評価損	937	99
その他	2,730	3,504
営業外費用合計	5,105	4,690
経常利益又は経常損失(△)	29,705	△6,053
特別利益		
固定資産売却益	113	—
匿名組合清算益	—	1,025
特別利益合計	113	1,025
特別損失		
固定資産処分損	40	—
減損損失	107	—
事業構造改善費用	—	3,687
特別損失合計	147	3,687
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	29,671	△8,715
法人税、住民税及び事業税	12,025	△3,598
法人税等調整額	808	500
法人税等合計	12,833	△3,098
少数株主利益	1,503	63
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,335	△5,680

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	29,671	△8,715
減価償却費	15,287	14,899
のれん及び負ののれん償却額	1,112	1,330
受取利息及び受取配当金	△469	△256
支払利息	1,438	1,087
売上債権の増減額(△は増加)	△4,376	△6,077
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,098	16,019
仕入債務の増減額(△は減少)	2,250	8,286
未払費用の増減額(△は減少)	207	△1,023
その他	1,367	41
小計	37,389	25,591
法人税等の支払額	△13,509	△3,395
法人税等の還付額	—	7,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,880	29,503
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	825	427
関係会社株式の取得による支出	—	△159
関係会社株式の売却による収入	—	61
有形固定資産の取得による支出	△21,491	△14,891
有形固定資産の売却による収入	1,608	191
無形固定資産の取得による支出	△913	△664
利息及び配当金の受取額	574	255
その他	△243	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,640	△14,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,670	△5,957
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	—	3,000
長期借入れによる収入	4,544	—
長期借入金の返済による支出	△2,172	△498
社債の償還による支出	△10,565	△921
利息の支払額	△1,577	△1,134
自己株式の取得による支出	△88	△13
自己株式の売却による収入	8	2
配当金の支払額	△2,115	△2,115
少数株主への配当金の支払額	△364	△336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,659	△7,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△940	△881
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,641	5,805
現金及び現金同等物の期首残高	47,821	33,476
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物増減額(△は減少)	—	△45
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,462	39,236

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	高級 金属製品 (百万円)	電子・ 情報部品 (百万円)	高級機能部品 (百万円)	サービス他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	141,736	65,296	94,022	52,611	353,665	—	353,665
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	15,868	19,242	15,639	3,443	54,192	△54,192	—
計	157,604	84,538	109,661	56,054	407,857	△54,192	353,665
営業利益	14,552	10,665	6,729	1,059	33,005	△3,330	29,675

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	高級 金属製品 (百万円)	電子・ 情報部品 (百万円)	高級機能部品 (百万円)	サービス他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	82,043	33,037	53,687	26,509	195,276	—	195,276
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,438	12,778	8,973	1,498	29,687	△29,687	—
計	88,481	45,815	62,660	28,007	224,963	△29,687	195,276
営業利益又は営業損失（△）	△2,570	269	△159	△283	△2,743	△758	△3,501

(注) 1. 事業区分の方法

製品の種類、製造方法、販売方法等の類似性、収益管理等の単位を勘案し、事業区分を行っております。

2. 各事業区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
高級金属製品	高級特殊鋼（金型・工具用材料、電子金属材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器・エネルギー関連材料）、各種ロール（鉄鋼圧延用・非金属圧延用・非金属用）、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品、切削工具
電子・情報部品	マグネット（希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石等およびその応用品）、情報通信機器用部品（積層部品、アイソレータ）、IT機器用材料・部品、軟質磁性材料（ソフトフェライトコアおよびその応用品、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®]およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]およびその応用品）
高級機能部品	自動車用高級铸件部品（高級ダクタイル鋳鉄製品、耐熱鋳造部品、アルミホイール、その他アルミニウム製品）、設備配管機器（各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷却水供給装置、精密流体制御機器）、建築部材（内装システム、構造システム、マテハンシステム）
サービス他	その他の販売・サービス等

3. 本セグメント情報の金額は消費税等抜きで表示しております。

ｂ．所在地別セグメント情報

前第２四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年９月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(１)外部顧客に対する売上高	246,632	40,213	47,823	18,997	353,665	—	353,665
(２)セグメント間の 内部売上高又は振替高	53,231	3,809	20,427	164	77,631	△77,631	—
計	299,863	44,022	68,250	19,161	431,296	△77,631	353,665
営業利益	24,806	3,301	4,309	610	33,026	△3,351	29,675

当第２四半期連結累計期間（自平成21年４月１日 至平成21年９月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高							
(１)外部顧客に対する売上高	130,318	22,559	30,323	12,076	195,276	—	195,276
(２)セグメント間の 内部売上高又は振替高	30,921	2,206	13,134	99	46,360	△46,360	—
計	161,239	24,765	43,457	12,175	241,636	△46,360	195,276
営業利益又は営業損失（△）	△4,809	△552	2,196	598	△2,567	△934	△3,501

(注) １．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)北 米 ……米国

(2)ア ジ ア ……シンガポール・中国・香港・台湾・タイ・フィリピン・韓国

(3)そ の 他 ……ドイツ

３．本セグメント情報の金額は消費税等抜きで表示しております。

ｃ．海外売上高

前第２四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年９月30日）

	北 米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
I. 海外売上高	34,738	79,200	24,334	4,321	142,593
II. 連結売上高					353,665
III. 海外売上高の連結売上高に占める割合	9.8%	22.4%	6.9%	1.2%	40.3%

当第２四半期連結累計期間（自平成21年４月１日 至平成21年９月30日）

	北 米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
I. 海外売上高	19,547	46,375	15,906	2,849	84,677
II. 連結売上高					195,276
III. 海外売上高の連結売上高に占める割合	10.0%	23.8%	8.1%	1.5%	43.4%

(注) １．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．各区分に属する主な国又は地域

(1)北 米 ……米国・カナダ

(2)ア ジ ア ……韓国・中国・香港・台湾・シンガポール

(3)欧 州 ……EU諸国

(4)そ の 他 ……中南米

３．海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

４．売上高の金額は消費税等抜きで表示しております。

(６) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。